

だいとう 議会報告

日本共産党
大東市議会議員団
大東市谷川1丁目1-1
議員団控室直通
TEL/FAX 871-5588

4/15 議会基本条例の制定に関する 特別委員会 開催

特別委員会 開催

第一回「議会基本条例の制定に関する特別委員会」が4月15日午前十時から開催されました。

大東市自治基本条例の第3章には、議会が議会の役割と責務、開かれた議会、議員の責務(明記されています)が記されています。全国的議会の流れとしても、議会基本条例の制定が始まっています。

最初に、議会基本条例について内海委員長より制定の意義として、本市議会はこれまでにも様々な議会改革に取り組んでまいりました。議会は市民の意思を代弁する合議制機関であることから、創意と工夫によって市民との協調のもと、街づくりを推進していく必要があります。本市議会もさらなる議会の公平性・透明性を確保し、開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指すため、議会の責務及び議会運営、および議員に係わる基本事項を定め

1947年5/3日本国憲法制定



62周年記念日

性確保し、開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指すため、議会の責務及び議会運営、および議員に係わる基本事項を定め

るために制定する。」と説明がありました。

全国でこの条例を制定しているところは少なく、先駆けて制定した栗山町・伊賀市の議会基本条例の紹介がありました。関西地区では、熊取町が昨年の3月議会において全会一致で制定しているのが最初です。今後の進め方として、具体的に議会基本条例の制定にどうかかわっていくのか。本市の特色ある条例制定にするため、勉強会の開催・先進市への視察・講師を招いての研修会など行う。次回は5月25日午後から熊取町へ視察をすることになりました。

日本共産党は古崎・豊芦が委員として出席しました。

第24回大東市花と緑のまつり



H21年度 大東市公園愛護緑化活動功労者の方々

4月26日末広公園で、花と緑のまつりが開催されました。風がきつく、主催者も参加者も大変ご苦労様でした。公園愛護功労者として14件。緑化活動功労者として14件。団体や個人の方々が表彰されました。

まちに緑を 窓辺に花を



大東四条隈保健生協・協立診療所が今年も「健康まつり」



消防市民音楽隊有志

4月19日(日)、「健康まつり」が開催され、今年一番の日差しが照るなか、約二千人が参加、党議員団も出席しました。「健康まつり」は、これまで三箇小学校の校庭を借りて行われていましたが、今年初めて住道駅南の「末広公園」で開催されました。唐沢岩大理事



市会議員 古崎 勉 (つとむ)



市会議員 ともあし 勝子 (かつこ)



市会議員 とびた 茂 (しげる)

法律相談

5月2日(月)7時~
大東市民会館
※先着順です
871-5588まで

4/11, 4/12

第5回 全国女性議員サミットに出席して

大東市会議員 豊芦勝子

このたびは、第5回 全国女性議員サミット in ぐんま」が、群馬県高崎市で開催される案内があり、四條畷の岸田・阿部議員と参加してきました。

会場のエレベーターを待っていると、若い女性を取り囲むようにして数人の黒いスーツの人達が近づいてきたと思っただら...。その女性は、小淵優子大臣でした。同じエレベーターで会場へ。

600人近い女性が参加し、サミット宣言を拍手で確認しあいました。

女性の政治参画を推進するために
社会を変えていきましょう!
日本を変えていきましょう!
私たちみんなが主役です。

第一日目のシンポジウムで印象深かったのは、**沖縄出身の糸数慶子氏の発言**です。

- 第一日目シンポジウム パネラー
- 糸数慶子氏(無所属)
 - 小淵優子(自民党)
 - 紙智子氏(日本共産党)
 - 亀井亜紀子氏(国民新党)
 - 古屋範子氏(公明党)
 - 福島瑞穂氏(社民党)
 - 円より子氏(民主党)
 - コーディネーター 山崎紫生氏

高崎商科大学教授

そんな中で、女性問題を浮き彫りにし、本土より7ヶ月も早く女性の参政権が、1945年9月

10日収容所の中で実施された。米軍は軍事政権下の中でも男女平等については民主主義を進めていた。

1948年2月の市町村選挙で首里市では、たけとみさんが最高得票で当選した。

1950年6月朝鮮戦争が始まって、米軍は農民の土地を銃剣とブルドーザーで収奪。そのブルドーザーの前に座り込んだのは女性たちだった。レイプ事件は多くが葬られていること。

1955年、当時6歳の由美子ちゃん事件。1959年石川市のジェット機の墜落事故。事件事故が後を絶たない。

小児麻痺のワクチンはやっと100本のメドが立ったがソ連産のためアメリカから反対され、沖縄には入らなかった。

1972年 (沖縄復帰後)は女性12の団体が沖縄婦人団体連絡会を結成。復帰後の職員採用で、男女の賃金差を勝ち取った。

1995年国際婦人デー(国連婦人10年)北京会議に87人が参加した。やっと、本土の人達と共有できた。

1人だった県議会議員が48人中7人に増えた。母親は命を大切に。子育て・命の重みについて超党派で取り組んでいる。

沖縄は出生率が全国一位死亡率が一位。超党派での取り組みで、子ども小児病院ができた。国保料は払いたくても払えない。国庫が減らされている元に戻し、公共事業の無駄をなくすことが大事。

大手の企業は溜め込んでいる。内部留保が問題になっている。1%崩せば、40万人の雇用が確保できる。歳入は取るべきところからとる。

議員になった理由は、候補者期間が長くて皆さんの方から要望を聞いた以上、必ず自分が国会への思いが大きくなった。

国民運動と連携した力で、変わったことはたくさんある。

障害者自立支援法の数回の見直しや後期高齢者医療制度の廃止法案が参議院で採択されたことなど。

小淵大臣は、少子化・男女共同参画の問題を女・子どもとの問題と捉えている間は進まない。重要と言つ発言はあるが予算上そうならない。みんなの問題として捉えないと進まないと言。

<紙智子議員(右から3番目)と>

日本共産党の紙智子氏は、地方活性化や雇用対策としても有効な、棚田の保存や山林問題で発言しました。

農業・林業の基本は今担っている人々が安心してやれるようにすること。再生産のためには、価格保障と所得保障が必要であり、新規農業参入したい人の担い手作りのための研修があることなど発言がありました。

二日目の分科会は、第一、女性議員を増やすには 第二、女性議員が増えると、社会はこう変わる 第三、パワーあふれる女性の働き方 第四、市民と行政の協働によるまちづくり 第五、女も男も生涯現役 高齢者社会の主役はわたし 第六、子育て支援 今、何が必要ですか? 豊芦議員は第四分科会に参加しました。